

今年は新型コロナウイルスのせいで、世の中がえらいことになりましたね。小学校も夏休みや行事がへって、つまらないなあと思っている人も多いことでしょう。

でも、疫病の流行は人類のれきしにおいてはふつうにあったことなのです。今日は疫病がれきしをかえた話をしてみましよう。

古代エジプトのラムセス五世はミイラの表面の調査で天然痘にかかってしんだとわかっています。三千年以上前から人々が疫病に苦しんでいたようです。

日本では、奈良時代に藤原四兄弟といわれたきぞくたちが次々と天然痘でしんだことが知られています。国内ではまず九州の大宰府からだんだん東にはやってきていたのです。そのため、この時の天然痘はおそらく唐（むかし中国にあった国）か新羅（むかし朝鮮半島にあった国）からもたらされたものとされています。七三五年からの三年間で、当時の人口の二十五～三十五パーセントにあたる百万～百五十万人が亡くなったと計算されています。三人に一人くらいのわりあいでなくなったということはすごいですよね。どこの家にも死者がいた、というかんじだったのではないでしょう。

これだけでなくじしんなどもあいついだため、なんとかしたいと思った聖武天皇は仏の力で世の中をすくいたいとねがって、あるものを作りました。そう、東大寺の大仏です。

京都の祇園祭もはじまりは疫病がはやりませんように、という祈りからです。ほかにたくさんのお祭のルーツが疫病よけなんです。調べてみたいかがでしょうか？

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② ラムセス五世の死因はなんですか？

③ なぜラムセス五世の死因がわかるのですか？

④ 奈良時代に大流行した疫病の名前は？

⑤ 奈良時代の天然痘大流行を日本にもたらしたのはどこの国だったと考えられているのでしょうか？

⑥ 疫病の意味を調べて書きましよう。

⑦ 天然痘の意味を調べて書きましよう。

⑧ 疫病大流行のあと聖武天皇がつくったものはなんですか？

（ ） 正倉院 （ ） 大仏 （ ） 病院

⑨ あっているものに○をつけましよう。

（ ） 疫病とのたたかいはむかしからあった。

（ ） 藤原四兄弟はおぼうさんだった。

（ ） 祇園祭は疫病とは関係がない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましよう。

できればは？

